京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金十六錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六大三番 振替口座京城西五大番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

寄書

スカンヂナビヤ一年間の見聞（十一）

在瑞典ストックホルム　三浦彌五郎

▲ストックホルム市の街路は一体に石を以て敷き詰めあり青黒色の石片にて其の形狀普通の煉瓦石に似て稍々大なり石の街路面に出づる方に平滑に切りありて他の五面は稍々粗し人道は車道よりも一段高く作りあるに過ぎず試みに其の修繕しつゝある所を見るに石の下は一体に一尺乃至一尺五寸厚さの砂にして其上に順良く矢を並べ石と石との間隙にも砂を詰めあるなり幾百萬の石片は機械にて切り他國へも輸出する由なるも予は未だ其の機械を見ず而して石の事故煉瓦又は木片と異りて幾年を經るも殆んど磨滅することなく石並に凸凹を生ずるときは其の部分の石を堀り上げ砂を置き直せば直ちに復舊することを得べし、右は前年泥濘通りに行ひたる如く石塊を數多埋め込むよりは便利なるが如く且つ南大門より南大門停車場迄電車道に石を布くの説あるに付參考迄に附記す

▲ストックホルムの電車には何れも皆其尻に郵便投函を附せり長さ二尺幅一尺厚五寸位の赤色塗金屬製の箱にして乘客は乘降の際之に手紙を投入することを得べく又電車停留の際停留場附近の者は走り來りて投函するものあり且つ一二里の郊外より電車は直ちに市内に戻り來るを以て幾分郵便物の取集めを容易にするの便ある京城の電車にて果して行はるゝことなりや又其の必要ありやを知らざれども記して當局者の考慮に供す

▲節酒組織　前に記したるゴッタンブルグ制度と稱する節酒組織に付重ねて一言すべし、往昔酒類は當國政府の專賣に屬し政府は其の收入の多きを欲して飲酒を奬勵するの氣味ありし爲め左なきだに寒國たる瑞典の事とて酒類消費の分量非常に多額に上り之に伴ふ弊害百出したる爲め其の大反動として禁酒運動盛に起り遂に政府の專賣を廢して市町村に於てアルコール分の強き酒類の[illegible]販賣を[illegible]することゝなり酒の分量を限定し酒造家及販賣店を制限し彼等に一定の利益を與ふると同時に殘りの利益は之を市町村の收入として教育費生産組合補助費其の他に使用する仕組なり四十三年中當國に勞働者の總同盟起れる際當時の首相リンドマン氏は軍隊警察の手配の外全國の酒類販賣店の販賣を三日間嚴禁し以て彼等の暴動を未發に防禦したり朝鮮にては別に相當の措置を執り得べき境遇にあるを以て移入日本酒に對して相當課税を爲し朝鮮の日本酒造家にも同樣の課税を爲し同時にアルコールの取締を一層嚴密にして其の收入を居留民の教育費等に使用することゝせば一面には節酒の目的を達し一面には居留民の負擔を輕減するの効益あらざる乎本件に付ては種々の方面より研究を要すべきものあらんもゴッタンブルグ制度に因みて發案を試むるのみ

▲オリンピヤ大競技會　本年六月より七月に掛けストックホルムにて開催せらるゝオリンピヤ大競技會々場は當市ワルハラ、ウエーゲンと稱する並木道の傍に建築せられ既に殆んど竣工せり競技場は楕圓形の廣場にして見渡す所約二千坪あるべく其周圍は四間許りの高さの煉瓦長屋にて取り圍み之に觀覧席を設け三萬人の觀客を容るゝを得べし上等席三週間の會期間の席料瑞貨二百グニーン（我百七圓餘）なり日本に於ても加納治五郎氏監督の下に競技者豫選會を行ひたる趣なるが當國人は今より同競技會の盛况を豫想しつゝあり

▲以上記述せる雜多の事柄に關し尚照會を望まるゝ向あらば予は喜んで應答致すべし（終り）

温突語迷

樺太生

◎然り、人は靈のみにて生くるものにあらず、靈の永生は肉の永生を意味す而して之等は生殖の力によつてのみ其目的を達せらるゝ也、粗野朴訥なる古代人が生々の保力を以て滿たされたる生殖器を崇拜せしは實に意義深長なるもの也、公娼制度を廢止し、私窩子屋を掃蕩し去らんとするは、恰も米の飯を常食する能ざる窮民が取つて以て僅かに飢を凌ぎつゝある薩摩芋の販賣までも禁止せんとする者に非ずや、爾等に告げん、我誠に爾等に告げん、地中海沿岸に起り原始基督教は實に之の情事の自由を好餌に世の善男善女を糾合したるもの也。

◎公娼の存在と密淫賣婦の跋扈が人道的なるか牛馬道なるかは末の末也、既に喰はざる可からず、而も何故に芋を以て代用とせざる可らざるか、滿足せざる可からざるか之れ根本の問題に非ずや、風教上より衛生上よりと云ふ、美はしく而も殘酷なる千松的な行儀なる哉、由來人間は街氣多きもの也、現代の所謂人道屋も亦非人情を以て、強がる野武士の如きか、我再び爾等に告げん、人間生存の意儀はお行儀よりも衛生よりも尊く貴き者也、と。

外事一束

▲獨逸　新發行の内債約一倍半以上の應募を見結果極めて良好なりといへり

▲露國　軍隊列車十八輛西伯利亞鐵道哈爾賓附近に顚覆し損害甚しと云へり

▲摩洛　哥國首相外相等の特使一行は英皇帝及西班牙艦隊歡迎の爲倫敦に赴

▲英國　貴族ファイフ公二十九日夕刻遂に薨去す臨終は極めて平靜なりしと

▲露都　訪問中の英國議員一行に對する露國議會主催の歡迎宴に露國老將軍

▲演説を爲しクリミヤ戰當時バラクラバに於る英國輕騎兵の進擊を稱揚す

▲北米　カンサス民主黨員海軍卿が豫算に計上せる軍艦建造費の否決をなす

▲陸軍　協會を新設して前獨逸海軍同盟會長陸軍擴張運動の鼓吹に努むと云ふ

梁川庄八

第九十三回　小金井蘆洲演

さしもの宿役人も却て遊振の理屈に少しく眼に角立て、役『御浪人其許は氣でも狂ひなすつたか、人足二人を殺して關所破りの浪人夫婦を逃がして置きながら、苟くも問屋場役人の首を幷べて獄門臺に載せるとは何の痴言、全く正氣で云ひなすつたのではあるまい、それとも又我々共の首を獄門臺に幷べると云ふ程の落度でもあると云はつしやあるか』庄『如何にも』役『落度があると云ふなら承はらう』庄『いや其れは代官の前で申立つる方が理屈が早い何も手前達に云聞ける要はない』宿役『宜しい左樣な無法な言葉は聞くにも及ばぬ全く其許は氣が狂つて居るな』と云へば人足共……之に和して人『氣狂だ〳〵打縮ろ』と犇めき渡れば庄八は呵々と打笑い、聽て容を正して庄『苟も武夫に對し亂心者とは無禮千萬不屆至極今一言云つて見ろ』と眼の色を變へて云ふと役『そんなら承はりませう如何云譯で問屋場役人の首を獄門臺に載せると云しつたか、其譯を被仰つて下さい』庄『それなら言つて聞かせるが、抑も此間屋場と云ふものは何の爲めに立てあるか、旅人の荷物運搬の爲め其方共は數多の人足を使役して居るのではないか、其外に問屋場の職分は先づないと申しても可い位のものである、それとも其方們幷に人足等は關所破りの咎人を糺すべき役目を帶びて居るさ心得るか、第一此尾州に何處に關所があると思ふ、鳴海、池鯉鮒、宮、之を名けて尾張の三宿と云ふが、此三宿に關所のあることは誓つて聞かぬ、勿論名古屋新居に關所はあれど是れは領主が毀つて居るではないか、然るに何事ぞ女連れの旅人と侮り關所破りだなど\勝手な惡名を付けて、之を痛ぶり大枚の金子を騙取らんとせしが生憎持合せが少ないといふので、人の妻を勝手に奪ひ之を遊女に賣らんなど\不法な振舞、何分にも聞くに忍びず見るに忍びぬ所より、勢ひ止むを得ず飛出して手向ひなしたる人足を打殺したが何とした、其方等は斯様な人足を此間屋場に差置て、旅に迷惑難儀を掛け剰さへ大金を騙取らせ、其上前を貪り取るを以て役得と心得て居るのであらう容赦ならぬ次第であるに依て右の次第を代官へ申立て、當に此鳴海宿の問屋場のみならず、東海道一般の問屋場役人の惡弊を矯めて、旅人の迷惑難儀を除かうと云ふ見込である、斯云ふ某は奧州仙臺の浪士梁川庄八と申すもので甲府奉行に腹を切らした者だ、手前等如き端人ものを懲す位は何の造作もない話、不埒千萬な奴等ださあ早々乃公を相手取て願出でろ』とドッカと座して身動きもせぬ勢は宛ながら大磐石の如くでございまする、庄八の申す通り全く此間屋場役人は、人足共とグルになつて隨分旅人に迷惑を懸けたこともあるので、今しも庄八の爲に星を指れて何となく氣咎めがして參つたものでございますから、問屋場役人始めの勢ひ何處へやら、尻込みして此方の隅に一團になつて　甲『マア大變な者を引張上げたな、奧州仙臺破牢の浪士と宿札を打て國々を經廻り、つい先頃甲府の町奉行に腹を切らせたと云ふのは彼の人か、道理で腕も強し落付拂つた人だと思つたが、それおやあ相手が惡いて、とんだ者を引張上げた如何したものだ　丙『如何したものだつて何ともはあ仕様がない、藪を衝いて蛇とは此事だ、此方にも不都合があるから俺が無闇な事を云ふなど云たんだ、今更仕方がねへ、佐平さんが宜鹽梅に欵待つて還して遣て下せへ』と相談一决して其中の年長者なる佐平と云ふ問屋場役人庄八の前に進み出で頭を掻きつゝ、佐『エー仙臺御浪人樣、此事を申出した者の云樣子、角が立て御耳に逆らつた廉もござんせうが、詰り貴下が人足二人を殺して關所破りを逃したと云ふ一方の話を承はつたので、それでは棄置き難いと申して、言葉に角を立て、申したやうなもの、段々お話を聞て見れば、此方にも落度がございます、ア何だ斯だと云合つて貴下を相手取てお願申した所が、結局双方の不利益と申すもの、就てはお氣障りの處は幾重にも御容赦下すつて、こりやまあ何事も内分にして何卒此儘御出立下されますやう願ます』と問屋場役人も實は幾干かの金に爲ようとの目算も、鶍の嘴と喰違つて詫入る其言葉を聞て　庄『双方の不利益とは何だ、其方共には不利益か知らぬが乃公に不利益な廉はない一旦思ひ立たものであるから何處までも問屋場の惡弊を矯めて、行人の難儀を除いた上ならでは一寸も動くなと容易に聞入れません

東京電報

▲聖上の御仁慈

天皇陛下には小笠原島八丈島等に侍從御差遣恩賜の御沙汰あるべし

▲清國事件費提案

政府は清國事件費支辨に關する法律案を議會に提出せり

▲軍艦の去來

陸軍省着電によれば革命軍の艦隊中巡洋艦海琛及運送船新銘は登州より芝罘に歸來し砲艦舞鳳代つて芝罘を發し登州に向へり

▲革軍追擊方略

大連發 某所着電報によれば芝罘を拔錨せる革軍艦隊の一艦は三十日午後八時長山列島沖合に現はれ豫て牒し合せたる戎克三十餘隻に分乘し十一時過迄に全部上陸を了りたり其兵數は不詳なるも一千名近くにて其目的は復州等の革命軍と連合して瓦房店にある五百の官兵を擊破し進んで蓋平を屠らんとするにありと尙鳳凰城遼陽地方並に主なる城堡を奪はん計畫なりと傳ふ

▲浪人連の困窮

上海電報によれば革命軍政府にては副島寺尾兩博士池當の兩氏を除くの外革命黨援助のため入込みをりし日本人との關係を絕ちしを以て多くの浪人は困窮しをれりと

▲決算委員總會

決算委員總會は二日午前十時衆議院に開會右分科主査を互選し次いで分科會の審查期限を同日より三週間と爲すことを議決し正午散會す

▲昨年米收總額

農商務省調査明治四十四年內地米作實收高は千九百九十二萬四千百十八石なり

▲南京政府借款成立す

昨報漢冶萍三鐵礦會社を擔保とせる革命軍政府の借款一千萬圓は橫濱正金銀行之を引受け其內半額は會社の設備及基本金に充て一半は南京政府に使用すべく其主要條件は各社の社債は清國會社の社債なれば支那の支配に置くことゝし一定の年限內に償還の豫定なり

▲鈴谷艦の小難

軍艦鈴谷は一日午後十時大連の北防波堤附近に擱坐したるが二日午前八時無事引卸しを終へ損害は極めて輕微なり

北京特電

▲退位上諭內容

皇帝退位の上諭は四日を以て發表さるべく先其の內容は朝廷共和承認の旨を宣言し國は永久に廢せず一切の祭典は皇室司掌し王侯子爵は舊により皇帝の優待は之を侵すを得ずとの諸件也

上海特電

▲招商局の全財產提供

招商局は一日總會を開き全財產を共和政府に提供する件を滿場一致を以て可決せり

漢口特電

▲官軍戰意無し

孝感縣地方にある官軍は何れも戰意なく革軍と接近し酒宴を催し融和の狀あれども官軍指揮官は毫も之を咎めず

▲革軍續々集中

南京、安徽、江西、廣西、湖南、湖北の各地より集中せる革軍は意氣盛んにして尙續々來集の模樣なり

奉天特電

▲奉天將に危し

南京政府の北伐軍三千大孤山東方の某地點に上陸し奉天を衝かんとして前進しつゝあり

雜報

●兩年度租稅比較

今四十四年度と本四十五年度の租稅收入豫算を比較するに來年度の收入は本年度より四十五萬一千十九圓の增入なるが何れも多少の增收を示せる中に關稅收入は其首位を占め四十一萬七千七百八十一圓なりと而して減收は家屋稅の二千九百九十二圓と鑛稅の三萬一千百二十八圓雜稅の一萬七千七百五十三圓にて家屋稅は居留地及雜居地に於て內地人の增加せる爲めに其稅金を賦課し得ざるが爲めに減收となり鑛稅は國稅徵收法に依り廢業其他に於て約三百件を減じたる爲めなるが今之れを表示すれば如左

科目	四十五年度	四十四年度
歲入經常額	二一、三四七、五三六	二〇、八九六、七一七
地稅	六、二七三、六一九	六、二四五、〇四五
戶稅	六四〇、五五七	四二〇、六七九
家屋稅	一三八、七二四	一三一、七〇六
酒稅	二一〇、〇七五	一九七、七四四
煙草稅	二二〇、五五三	二〇四、四四三
鑛稅	一九五、五〇五	二二四、六三三
關稅	三、五四〇、〇八四	三、一二三、三〇三
噸稅	八九、九四四	八〇、七二六
雜稅	五一、四八五	六九、二三八

●師團に賞餅

由來朝鮮乃至滿洲守備の任に在るものは所謂新附地風なる一種の惰性に浸り動もすれば軍紀を紛亂せんとするも然るに第二師團は嚴として大命を奉じ渡鮮して以來之に臨ぶると同時に此の渡鮮以來一糸紊れず軍紀を守り得たるは實に奇特なりと陸軍省より龍山駐屯同師團に對し賞餅ありたるが今回龍山師團に廻送したり

●米價と鮮人經濟

昨四十四年に於ける米價は之れを前年に比するに約三割乃至三割五分以上の騰貴を示したるが今其の京城地方鮮人間の經濟上に及ぼしたる影響を聞くに米價の騰貴は下層勞働者をして生活難を嘆ぜしむるに至るならんとの臆測一般に行はれしも彼等の多くは今日未だ米を以て常食となす者極めて少く其の多くは粟其他の雜穀を以て日常の食物に充て居ると其の勞銀は昨年に於て約十錢內外の騰貴を見たる爲め左程の痛苦を彼等の生活上に與へざりしものゝ如く殊に農民に至りては米價の騰貴は寧ろ其の生活狀態に餘裕あらしめ却つて其の購買力を增加するに至り其の結果は鮮人向商品の賣行を增加し爲めに商業上尠なからざる活氣を帶ばしめ資金の需要と共に金融機關の繁劇を來し鮮人向商品價格亦洋金巾に二分和金巾に三分紡績糸に一割五分晒金巾に八分木炭に一割余石油に一割三分前後の騰貴を示すに至りたる程にて其の經濟上に及ぼせる變動は極めて微細なるものにて彼等納稅上に於ける成績も一般に良好なりと某當局は語れり

●朝鮮郵船と買收船舶

來る四月より命令航路に從ふべき朝鮮郵船會社の所要船舶は目下其筋に於て船質價格評定中にて釜山瀛船に屬する十二隻中七隻、吉田氏所有船四隻中三隻は共に買收せらるべく其他も夫々詮考中なるが不合格船舶も會社創業の事とて當分代用すべしといふ

●屠場問題其後

京城 民團に於ける屠場經營問題は其の後何んとなく行惱みの態にて今日にいたるも未だ其の筋より何等の回答に接せず依て民團にては三十一日の民會に於て豫算削除の決議を了し更に近日道廳を經て當局に許可方を促す筈なるが聞くところに依れば總監部に於ては最初より何等の異議なく又屠場其のもの、借受けに就ても別に支障なきも唯如何なる事情にや內務部に於ける詮議が斯く遲延を來しつゝあるなりといふ

●預金利子引上と銀行家意見

近來內地各銀行業者等が協議の結果預金利子を引上げ六ヶ月以上の定期預金に對しては五分の利率を附し預金吸收策を採るに至りたるに就いては當地其他朝鮮各地に於ける內地銀行の支店若くは出張所に於ても內地本店に對する關係上此際預金利子の引上げをなし本店と共に預金吸收方針に出づるならんとの風說行はるれど當地內地人側銀行業者の語る所に依れば同業者等の理想としては預金貸附の論なく可及的內地銀行と一致せしむるの希望を有すれど朝鮮經濟界の事情は未だ內地とは大に其の趣を異にし今遽に之れを實行し得ざるものあり且つ目下當地各銀行の定期預金利子は六ヶ月以上四分五厘一ヶ年以上五分と規定され從來の內地預金利子に比し寧ろ高率なりしものにて又た引上の預金利子に對しても差したる差額を見ざるものなれば朝鮮銀行にて預金利子の引上げ等を行はざる限りは特にこれが引上の必要を認めず過日の同業者集會の際にも之れに關しては特に何等の意見もなかりしと

●一月中の手形交換 種別

京城手形交換所に於ける一月一日より卅一日に至る一ヶ月間の手形交換高は既報の如く總計一萬三千九百九十九枚三百八十五萬七千三百二十七圓九十四錢なるが今之れを證書種類別に表示すれば

證書種類	枚數	金額
小切手	九、六一六	二、六九五、一二三
送金爲替手形	三九四	二二一、四三三、九二
約束手形	四九	三、三二九、三五
仕拂命令	八九九	四九〇、四四九、九九
出給命令	一、九四一	三四三、七一七、〇八
郵便爲替證書	九一五	五〇九、四六
公債借券同利札	一八五	一〇四、一三二、〇三
雜證票		
合計	一三、九九九	三、八五七、三二七、九四

にして又た各銀行の持出手形交換枚數及び金額を掲ぐれば左の如し

銀行名	手形枚數	持出手形交換金額
朝鮮銀行	一、〇三〇	一、〇〇九、四四六、一八
第一銀行支店	三、一四〇	七三九、一八三、七二
百三十支店	三、七二〇	四〇四、一〇三、八七
十八支店	一、九四〇	五七八、二〇四、四六
漢湖農工	五七一	二〇九、三〇七、八〇
朝鮮商業	二、三四三	三三二、二五一、九〇
韓一	一八〇	三六、六三四、八八
漢城	二五五	一二四、四八九、〇六
京城郵便局	八二〇	三四三、七一七、〇八
合計	三、九九九	三、八五七、三二七、九四

懸賞論文募集

●半島鑛業振興策●

募集規定

一 懸賞金壹百圓

一 右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一 文章は論文體言文一致體何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一 當選論文の決定は本社爲斯鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一 應募締切期限は來る三月一日とす

一 當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一 當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事

一 應募論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記 本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●朝鮮水產會社成立

京城水產會社と日の丸市場の併合に就ては四十四年七月以來役員間に於て協議を凝しつゝあるが同十二月に至り各總會を開き襲日の弊害に鑑み何れも異議なく併合に決定し居たるも去る一日兩者役員會合の上協議したる結果新たに朝鮮水產株式會社(資本金十萬圓)を創立する事とし兩市場の權利を買收して監督官廳の認可を受くる筈なるが右創立委員は松永、山口、秋吉、香椎、前田の五氏等當選し目下出願書調製中なりと

●電車營業成績

日韓瓦斯電氣株式會社昨四十四年上下半期に於ける市街電車營業成績を聞くに上半期は平均一日收入金六百〇二圓四十八錢七厘平均一日乘車區數一萬三千五百七十六區平均一日使用車輛數三十車九平均一日走行哩數二千五百四十六哩九にして下半期は收入金六百五十一圓二十錢二厘乘車區數二萬一千七百〇六區車輛數三十三車六一日走行哩數二千九百六十七哩九にして其の下半期に於て乘車區數の激增せるは乘車區間及び賃金改正の結果なりと

●民會と稅制整理案

京城民會は二日午後四時より民團樓上に於て開會民長より提出の稅制整理問題に就て審議し議員中二三の質問ありしが結局和田、高橋、大村(保太)中島、山口、小林、前田七氏の委員に附托することゝし午後七時閉會したり

●清國視察團 計畫進捗

既報京城日本人商業會議所主催實業家清國視察團組織の計畫は其の後着々進捗し昨今會議所より鐵道局に對し瀛車貸切引の交渉中にて鐵道局にても出來得る限り利便を圖らんの意向ある由なるが視察人員は約四十名にて遲くも四月上旬迄には出發すべしとの事なり

●總督夫人着京

寺內總督夫人は三日八時三十分南大門着列車にて入京せるが停車場には小松外事局長、明石總長、國分人事局長其の他各局課長夫人等多數出迎へたり

●軍隊慰問使着期

朝鮮駐劄軍隊慰問使奧村侍從武官は三日東京出發五日夜着京の筈なり

●松永師團長發着

既報の如く松永第二師團長には來る三月東京に開會の師團長會議に參列の爲め本月下旬當地發東上し同會議終了の上は仙臺に赴き新兵の第一期教育を檢閱し直ちに龍山師團に歸任の上弘前師團と事務引繼の上四月末當地發原隊なる仙臺に向け出發すべし

●穀物撤廢運動員消息

在鮮商業會議所聯合會より派遣したる穀物移入稅撤廢運動委員の高洲規氏は二日以來木內貴族院議員荒井政府委員等を訪問して運動しつゝありといふ

●電軌工事の近況

日韓瓦斯電氣株式會社電車工事の近況は御成町線は目下工事中にして二月以降は鐘路新龍山間に全部複線の運轉を開始するを得べく黃金町線も亦道路改築工事の竣成と共に遲くも六七月頃迄には複線軌道の開通を見る豫定なりと

●トロール漁取締電訓

客月二十八日頃より釜山近海に內地トロール漁船十二隻現はれ漁業せるより他の漁業者の迷惑一方ならず總督府に於てはトロール漁業は許可したることなきを以て右通報に接すると共に嚴重取締方慶南警務部に對し電訓する所ありたり

●京畿道內教育實況

京畿道廳 管內に於ける現下の教育狀況は鮮人側教育としては公私立普通學校は總數四十六校にして總學級百四十級あり二百二十三名の教員五千五百七十七名の生徒に教授し私立宗教學校總數は六十三校にして九百八十九名の教職員一ヶ年約十九萬千三百十四圓の經費を以て一萬五千五百五十四名の生徒に教授し此他書堂數は全管內を通じて其數千五百〇三ヶ所に達し千八百六十九名の教員一萬一千八百三十餘名の生徒即ち教員一名に就き約八名宛の兒童に教育を施しつゝあり又た內地人側教育としては小學校は總數十七校にして尋常科生徒五千七百三十二名高等科生徒五百二十七名計六千二百五十九名百二十學級に對し百三十一名の教員あり高等女學校は京城仁川の二高等女學校にして生徒數四百十六名十四學級に對し教職員二十八名にして各種學校は總數三校十二學級百六十四名の生徒に對し教職員數十四名專門學校は一校一學級四十三名の生徒に十七名の講師教育を施し幼稚園は總數三ヶ所にして十學級二百四十六名の幼兒十名の教職員に養成され實業學校は二校九學級二百九十四名の生徒に對し十五名の教員を以て教育しつゝあるが道廳にては來年度に於て內地人側教育にては議政府、甕島の二ヶ所に小學校を增設し鮮人側教育に於ては管內四十六ヶ所の私立普通學校を全部公立に變更する外開城京城の二ヶ所に普通學校を新設し又た學級五學級以上の普通學校に對しては現在一名の日人教員の外尙ほ一名の日人教師を增加して鮮人教育の完全を期すべく又た現在三ヶ所の簡易實業學校を十校に增加することに擴張方針確定したりと

●南大門市場の建築

既報の如く過日燒失したる南大門市場は其の損害高も尠なからざるが折柄昨今は陰曆十二月中旬に際會し居るを以て類燒の厄に罹りし商人連は一年一度の書入時を失ふことゝて其の狼狽一方ならず早速建築に取蒐らんの計畫あるも市場一圓の土地は官有地なるを以て其の筋の許可を經ざるべからず依つて右商人連は頃日貸下許可申請書を京畿道廳に提出し道廳より昨今總督府に廻付中なるが何れ一兩日の中には許可の指令に接すべしといふ

●石炭需給狀態

京城 目下の在炭高は內地炭にては秋田商會の二百噸三井物產出張所の三百噸白上商店の千噸龍山各石炭商貯藏の二百噸の合計千七百噸にして平壤煉炭及無煙炭は苦米地商店の五百噸のみなるが彼の撫順炭は炭質良好なれど塊炭六分粉炭四分の割合なるに價格も內地炭と均しく十圓前後なるを以て當地方に於ては殆ど之れが需用者を見ず又た昨今京城一日の石炭需用額は六十噸乃至七十噸にして其の多くは暖爐用なるが其の需用割合に於ては昨年に比し氣候溫暖なるも五割內外の增加を示し居るが是れ本年は內地人の人口增加と共に山林の濫伐を禁ぜられし爲め薪炭は昨年に比し三割以上の騰貴を來せる爲め鮮人間にも多數の石炭使用者を見るに至りしに原因すといへり

●中山大佐出發期

總督付武官たりし中山騎兵大佐は五日當地出發に決す

●咸南の禁獵區設定

咸鏡南道廳にては狩獵規則第二條第一項に依り山林沼池湖等十七ヶ所の禁獵區を設定せりと

●青木檢事正の辭

海州地方裁判所檢事正從四位勳四等青木幹造氏は三日卒

●佐々木東亞煙草理事宴會

東亞煙草會社佐々木理事は三日午後五時半より當地官民の重なる人士を京城ホテルに招待し留別の宴會を開く由なり

●朝鮮郵船記者招待

朝鮮郵船會社の專務吉田秀次郎氏は今回會社の成立を機とし在京城の新聞記者一同を三日午後六時より花月樓に招待せり

●普中親睦會報發行禁止

京城中部にある普中親睦會報は治安に防害ありと認められ其筋より發行を禁止せらる

●京城民團會計檢查

京城民團會計檢查は三日四十三年豫算に關し第四回の會計檢查を行ひたりと

●仁川の陸軍墓地改修

朝鮮駐劄軍經理部にては仁川柳町に於ける陸軍墓地の永久保存の必要上解氷期を俟て該墓地の改修を行ひ現在の木標を合葬石碑に改め尙周圍の風致を添ゆる爲め植樹を爲すと共に道路を修築すべしと云ふ

●普成專門學校卒業式

私立普成專門學校にては三日午後一時より同校內に於て第五回卒業證書授與式を擧行す

公人私人

▲三宅鐵吉(平壤模範場技師) 二日巴城館へ
▲奧山喜一(利川土木課出張所技師)同浦尾へ
▲市原晴雄(大阪商船鎭南浦支店長)同
▲大森靜夫(關東都督府囑託)釜山

▲京城手形交換高▼

二月三日 金高 一八一、四六〇、一八〇 枚數 四三四

▲茶袋▼

多數黨の政府として萬事意の儘になると、議員側には總撰擧と云ふ頭痛の種あり、活氣なく生氣なきは自然の勢ひ自然の理とは申せ、今期の帝國議會程活氣の無いことは空前である▲總ての質問は講義式で、應答は八百長としか受取れぬ、議員も眠つてをれば政府委員も眠つてをる、殊に豫算委員會に於ける朝鮮問題に關する議員の質問ときたら、殆んど當局の急所を衝いたものなしで、何れも平々凡々の愚問なるに至つては眞に情ない事た▲支那の南京政府が大冶其他の鑛山會社を擔保としての借款は正金銀行で引受けることになつた、又東亞興業株式會社でも支那の地方から資金の大需要起るべきを豫期し、之に備ふるの計畫ありと▲善哉々々所謂利權なるものは、國家の手で獲得しようとすれば、國際上種々の面倒が起る、それよりも寧ろ民間の手で之を收むることに努むるに如かず、我資本家は此際大に支那の大舞臺に活躍して可なり▲當地商業會議所の發起してをる清國視察團にも、可成有力なる商工業者を網羅し、大に支那方面に手を延ばましたいものだ。

●たのしみ 逸話談 本日休載

●仁川 彌生の奴が怪腕 ▽欺され三人男

仁川仲町一丁目にやよひと云ふ料理店あることは知つてゐる人は先刻御承知の通りなるが其家の藝妓に奴と呼ばるゝ女あり郷里は米の實る木を知らぬと云ふ備前岡山にて同じ藝妓稼業中個某と云ふ人と思ひ合つて落籍され面白可笑しい月日を送つたのはホンノ當座、然う斯うした事から男の手許も不如意となり生れ故郷にも居られぬ事となりし或日の事朝鮮は砂金で以て海を埋立てゝ居る程の景氣と聞きしが肝腎の其海と云ふのが何の邊かは聞き洩らしたので知合の誰彼と無く尋ね廻つた所或物識に仁川と云ふ所が夫で榮踊するとの事なれば或は其處の事なるべしと敎へられしにぞ愚図々々して居て他人に先を越されては後悔の臍を噬つても追着くまいと思ひ立つて仁川に來たのは昨年の春なりしが着いた當座は宿屋の飯を食つて夫婦して砂金の所在を探して見たが一向に見當らさるに左樣何時までも宿屋住居と成り兼ね夫婦相談の上花町邊に飲食店を開業せしも忽ちの間に失敗し新町邊の長家に引き籠つたが遊んで暮して行ける身分にあらねば奴は彌生から昔執つた紫檀棹を擱んで再び浮川竹の流れに浮ぶ事となり良人個を立て過して居る内周旋する人あり本夫の個は敷島遊廓第一朝日樓の帳場に住込む事となりしより玆に夫婦共稼ぎ新町の家も畳んで離れ〳〵に暮す如に成つたのは昨年の十月頃の事なりしが奴の方は稼業柄却つて此れが好都合と辣腕を發揮して間も無く生捻りしたのが花房町の三宅回漕店の主人公毎晩毎夜のお樂みに妻君も左樣左樣は默つて居られず意見の衣に燒餅の熱いのを包んだのを二個三個喰べさした處夢中に成つて居る三宅さん一も二もなく嚙んで吐き出して仕舞ひ左樣云ふ不量見の女房は家の不爲だから當地に置くことならずと内地へ送り歸した後は誰に遠慮もなく鴫氣切つて御座る程の心中男を何處に不足があつてか浮氣性の奴近頃になつて水塲附近の木村組へ通勤する鎌地とか云ふ好男子に關係を付けてよりは本夫の個と旦那の三宅と此四つの眼を盜んで盛んに嬉戯をして居るのを朋輩の誰彼が見兼ねて『奴ちやんチッタア愼みよ』とでも云はうものなら夫れこそ事で『アノ方となら例令御法通りのお仕置を蒙つてもサラ〳〵恐みとは思はない』の儘になると所夫を離緣して晴れて添ひたい位に思つて居るのだから此斗りは大目に見て頂戴よ何も朋輩の厚誼にさ、併し妾も無料では置きません』と龍榮堂のカステーラを寄ることも毎日なので家内中歯を惡くし本町の野田歯科醫院に通ふて居る、とは知らぬ本夫の個は藥捲が初つて以來と云ふもの今にも砂金が出るかと夫れ斗りを心配して居るので斯う云ふ事とは一切知らず至極無事に納まつて居ると不思議相に噂して居るものもあるが左樣思はせる所實は奴の腕の凄い所かも知れず何方にしても大した問題に非らず

●室内修理中に窃盜 ▽雇ひ主は注意肝要

西部貞洞居清國人大工賽光鴻(三〇)は去月二十六、七、八の三日間梨花學堂内米國婦人宣敎師マッカー氏の室内修理に雇はれ居る中卓子の抽斗に入れありたる第一銀行振出小切手用紙八枚を窃取し同居人なる林日天(十九)に情を明かし該小切手用紙に金額氏名を記入せしめ内一枚は書き損じて棄て七枚の中一枚に十圓と記したる小切手を以て太平町酒井嘉福方にてメリケン一袋代二圓三十八錢を買ひ剩錢を受け取り何喰はぬ顔して居たるを西大門分署の酒井刑事に探知され三十一日午後四時自宅にて取捕へられ賽は窃盜及文書僞造林は從犯として三日檢事局に送らる

●氷滑場開場式 ▽四日午後三時より

同業京城日報主催在龍山氷滑塲開場式は四日午後三時執行せらるべく社長吉野太左衛門氏より夫れ〳〵招待狀を發送せられたれば定めし盛會なるべし

●油斷ならぬ電車 ▽跳ね飛ばして間談つく

三日午前十一時五十分頃東大門方面より疾驅し來れる電車三十三號は鐘路裁判所門前を距る西一町許の所に於て六斗りなる鮮童を跳ね飛ばし頭部に負傷せしめたるが車掌二十一號運轉手五十三號は何等應急の處置を執らす空しく喧囂を極め傷部よりの出血を眺めつゝ、ある所へ巡回中の警官も來合せしたるが是又同樣に徒らに喧囂する小兒を擁して時を移すこと多時なりしと、斯る際に處すべき心得こそ豫て申合させされたきものなり

●拾つた金で散財 ▽客人の遺失した巾着

平壤大興面二里一統四戶李德基(五〇)が去月二十五日買物の爲め出京し南大門外盆洞一三一の三旅館白樂範方に投宿したるが翌日午前九時外出の際庭内に百十三圓在中の巾着を落したるを同家の雇人印壽命(十九)が拾ひ内九十圓を竈所に埋め殘餘の金を以て派色に耽りゐたるを三十一日午前三時獨立門通りにて西大門分署の李巡査補に捕へられ三日檢事局に送らる

●女郎を買て船を賣る ▽而して後は監獄行

原籍熊本縣宇土郡松合村大字西百三十六番地彥四郎三男當時仁川寺町二丁目藤原金五郎方滯在漁業中川末十(三八)は二日擧動不審として引致取調の結果一月元旦より三十餘圓の遊興費に差閊ね在仁川寶兒某が濱町二丁目池末登一郎方に抵當に入れある所有船を一月三十日無斷にて朝鮮人殷世昇なる者に金三十圓にて賣飛したる事發覺三日檢事局に送らる

●催促された苦紛

仁川牛角洞居住清國人山東省生宗長元(三六)が一日の夜强盜侵入せりとて訴出でたるより小池刑事石村部長現場に驅付け取調べたる處眞赤な僞りにて元雇人趙某志が給料の支給を迫るも埒明かず依て同夜强硬談判に及びしを虛僞の訴を爲したる事判明し昨日告發せらる

●警察で打たれる

中部中廊洞居李愚錫(二〇)は一日夜酩酊の上校洞居昔箱雲方に暴れ込み笞三十に▲同豆錫洞居金英實(二〇)は一日朝自宅前にて北部中學橋内居金寧吉(一八)を毆打して同じく笞三十▲同魚塵坊後洞居韓德根(二〇)二日午前一時頃酩酊して友人と喧嘩中制止したる警官を毆打して笞二十に何れも二日北部署で執行さる

●亂暴な金貸業者

大和町二丁目二百九十一番戶金貸業吉村儀右衛門は二日午後十時頃西部西小門内十二統四戶李般永(二〇)に對する貸金殘金一圓を請求に赴き口論の果て李の左頰を毆打したるより李は吉村を同行西大門分署に訴へ出でたるが双方の不心得を戒め李に一圓を支拂らはせて事濟み

●拾得帶一筋

二日午後五時四十分水門洞分署の木曾巡査は西部盤石坊藥峴麻浦街道にて紺色博多男帶一本を拾得す心當りの者は西大門分署に

●鐵道倶樂部娛樂會

龍山鐵道倶樂部にては四日集會若遊三を聘し家族娛樂會を催す由なり

●節分とお化

四日は節分なれば姐さん方のお化も盛なるべし

日曜集會

▲高野山の星祭 新町高野山に於ては例年の通り四日午前十時午後三時に各一座宛星祭祈禱會を執行し當日參拜者一般へ厄除御守と年豆を授與すると

▲日蓮宗の節分祭 四日午後七時より旭町三丁目日蓮宗護國寺に於て寒中修行願滿、節分祭、星祭祈禱會執行あり

▲微笑會 四日午前十時初音町臨濟寺に於て圓山太巖老師の碧巖集例會提唱

▲メソヂスト敎會(旭町二丁目) 四日午前十時より日曜學校同十一時より藤岡牧師の禮拜說敎『協力主義』午後七時半より監督ハリス博士の傳道說敎あり

▲日本基督敎會(旭町四丁目) 四日午前九時半より日曜學校同十時半より井口牧師の禮拜說敎『信仰の意義』あり午後七時半より丹羽清次郎氏の傳道說敎

▲京城基督敎會(相生町) 四日午前十一時より丹羽清次郎氏の禮拜說敎『奥儀を知るの道』午後七時半より松本雅太郎氏の『與き犧牲』なる傳道說敎あり

●演藝だより

●壽座の藝妓芝居

過日來一同大車輪にて稽古中なりし京城券番藝妓芝居は既報の如く愈々四日初日三日間壽座に於て開演する事の勝負筋の力癖は非常なり初日の狂言は序『繪本太功記』十段目、一番目『彥山權現誓助太刀』二番目『十二時會稽曾我』敷皮の塲、切『新版歌祭文』染久松六助住家の塲

藝妓と一圓

京城券番藝妓連は芝居の爲めに誰も彼も眼の色を血走らして居る、無理も無い若い妓達に取つては一期の浮沈此一擧にありだから、其又世話に血眼になつて居る御大を壽座の花道に擧邀する

きくや 文之助

『此忙がしい中でマア……捉まつた以上詮方がない、サア早く仰云い一寸ですよ、藝者が一萬圓の金を手に入れたら什麼するかて云ふんです左樣……せめて百萬圓とでもいふんならば好きな日那をヒカして……何處からつて或る役所からサ長火鉢の向ふに座らしても見たいと思ふが一萬圓おやチー貫許、トテモ駄目ですよ』と莞爾する『笑談はサテ措き差當り一萬圓手に這入つたとしたならば先づ二千五百圓で借金を返して了ひ三千圓は母や姉妹の養育金とし五百圓を以て罪亡ぼしをする私の云ふ罪亡ぼしとは放蕩者の成の果てに限るので落した氣の毒な人が悲境に陷つてゐるのを救ふて上げることですよエ、と殘金が未だ四千圓ありますヨ是れを雜誌『藝妓の友』を發刊する基本金にします目的ですか全國に散在してる藝妓間に智識の變換をするのサ』と喋舌り了つて眼目した蒼白い顔の上には華美なりし過去の幻影を追想するもの、如くアノ時心懸けたならばと謂つた突差の淡い悔恨の情と哀愁の念が浮んでゐる樣に思はれた

『野崎村』久作住家

●泊花館 增々好人氣なる圓君一座にて毎夜御禮餘興として『初霞空住吉』清元連中出語り大仕掛にて御覽に入る由

宗匠訪問錄(四)

筑前琵琶指南 井上霞曉子

旭町度支部官舍の入口左側の端に筑前琵琶月友會と云ふ看板が出てゐる剌を通ずると鼻下に少しばかり髭を蓄へた二十五六の書生風の人が現はれた後で此の方が井上霞曉さんだと知られた三疊の取り散らされた稽古室に案内される是れと云ふ裝飾も無いが頗るフルッタ石版畫が著るしく目を惹く福岡の人とも思はれぬ口調で語る。筑前琵琶の現はれたのは最近のことで二十年餘りにしかなりません鶴崎賢定橘智定吉田タケと謂つた人がマァ開祖で尤も先鞭を着けたのは鶴崎氏です從來の琵琶に淨瑠璃長唄等を加味して一派をなしたものですが其の當時は歌、調共に野鄙だと云ふので餘り歡迎されませんでしたが漸次改善し來たものですから今日では上下を通じて非常な勢ひで流行してゐます薩摩琵琶に比較しますと幾分圍みを有つてゐるのと男壯活潑といふばかりでなく優美とか悲哀とかの調が多いやうであります現在の會員は三十五六名で官吏や奥樣方が重です先づ稽古は三月になれば一寸面白味も出來ます一年熱心にやりますれば琵琶も可なり彈ける樣になり歌も一通りは覺えられます私ですか鶴崎賢定の直弟で朝鮮に來たのですか四十二年の四月でして爾來當地に足を留めて居ります薩摩が男性的で筑前は女性的である從つて婦人に接觸する機會が多い故かよく斯界から色魔が現はれると云ふのですがドーモ恐れ入りましたね其の點は女房持ちですから大丈夫です元來獨身者が僞した稼業をするのは誤解され易いものですと云つて苦笑してゐられる

▲新米探訪日記▼

西大門分署に行つたのが十時二十分前○○部長が今日は大變機嫌よく二ツ三ツ小材料を出して呉れた、司法に行くと何時もながらチヨイと思はせ振をさせらるゝ樣な氣がする土曜日なので何となく氣忙しい▲電車を降り粹新院の書記課を覗いて昨日沖津の公判があつたでせうと問へば『ソレは昨日電話で御知らせしました筈だつたよ、君は京城日報だらう』▲高裁判所の同課では這入つてスグ右側にゐる書記さんは頗るムッカシイ最後には『君は何者だ』と來た夫れで居て要領は得ず▲地方の書記課に驅け込むと屆君が『庶務で用事があるから寄つて呉れ』僕は材料取りである弱い職業だ▲行つて見ると監督書記の黒岩さんが君鐘路の○○局の秘密漏洩と云ふのが文出たね一体投書は多くは仲傷や何かゝ多いのでせうと僕は材料取りである如何でムいましやうか(三日記)

●諸公債株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九九三

勸農旬報

併合以來和氣靄々の間に茲に第二回の新春を迎へ吾農界の前途は倍々日新の曙光を展べ來候處各位の御經營有之候果樹、桑、山林用苗木類移植の好時節も切迫致候際本會社にては當局獎勵の方針を体し試驗したる結果成績優良なりと決定し左記種類の苗木を自營苗圃にて養成し廣く高需に應じ可申候間多少に拘らず御用命あらん事を希望致候

果樹苗木 各種一、二年生の別あり
○苹果苗木 紅魁(早)祝(中)紅玉(晩)柳玉(晩)倭錦(晩)國光(晩)
○梨苗木 長十郎(早)明月(中)太白(中)晩三吉(晩)今村秋(晩)バートレツト(早)ロスチー(中)
○桃苗木 アムスデンジユン、アレキサンダー、天津水蜜桃、上海水蜜桃、金桃
○葡萄苗木 歐洲種ブラツクハンボルク米國種レデーワシントン
其他栗柿等各種あり
○桑苗木 魯桑接木苗、同實生苗、市平苗赤木接木苗、十文字苗
○山林用其他苗木 櫟二三年生苗、アカシヤ苗、落葉松二三年生、赤松二三年生苗ポプラー苗梧桐

此外各種の苗木養成罷在候間御出張の上現品を御一覽被下度候 御農業養蠶用具類純良蠶種又普小石丸青熟種及肥料類各種販賣可仕候間御用命被下度候 營業目錄及定價表は御一報次第進呈可仕候

京城旭町二丁目（電話三六八番） 朝鮮勸農株式會社 振替貯金京城三七八番

株式會社百三十銀行 第二十七期營業報告

貸借對照表

資産	金額
一 諸貸出金	三、四四三、五四六、四三七
一 有價證券	三、八八六、八四一、八〇〇
一 預ケ金	三、四一四、五三六、七三五
一 他店へ貸（九ヶ所）	九九六、三四三、四四〇
一 拂込未濟資本金	一八七、五〇〇、〇〇〇
一 地所建物	一一五、二九五、三一九
一 物件什器	六八五、九九三、二〇〇
一 質物流込	九、六八二、〇〇〇
一 諸證券買入元金 ※勘定	三三、五六五、一〇〇
一 金銀勘定	六六四、五七三、九〇八
合計	一三、四三七、八七七、九三九

負債	金額
一 諸預り金	二、四一六、五一四、八五三
一 支拂送金 爲替手形	七二、三五四、〇一〇
一 未拂利息 既收割引料及	二〇〇、九八一、九五〇
一 借入金	三、九六〇、〇〇〇、〇〇〇
一 他店ヨリ借（二九ヶ所）	一、四九七、四五八、〇九〇
一 資本金	五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
一 積立金	一八五、〇〇〇、〇〇〇
一 支拂未濟配當金	九七四、六三三
一 當期純益金	一〇四、五九四、四〇三
合計	一三、四三七、八七七、九三九

利益金勘定
一 金拾萬四千五百九拾四圓四拾錢參厘 純益金
内譯
金五千圓 積立金
金七千五百圓 役員賞與金及交際費
金八萬七千五百圓 優先株式配當金年八分
金四千五百九拾四圓四拾錢參厘 後期繰越金

右之通候也
明治四十五年一月 株式會社百三十銀行
取締役頭取 安田善三郎
副頭取 高橋長秋
取締役 小川爲次郎
取締役 小西又助
取締役 富十田卯之助
常務取締役 森本清兵衞
取締役 右近和作
取締役 森脇茂
營業部長 佐野直喜
朝鮮代表者
前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也
監査役 内藤爲三郎
監査役 河村清七
監査役 渡邊辛平
監査役 安田善次郎

本場精撰 茶
右銘茶各種新物續々入荷付御小賣も大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目（府廳通） 田中芳春園 電話四五〇 振替京城五〇二

貸家 南山町二丁目總督府前鳳景館住宅 官吏に適當 家賃一ケ月五十圓
京城本町二丁目 辻屋

◎一月十二日左記の處に移轉仕候
▲貸金 確實なる擔保に便宜に融通申上候
京城旭町一丁目より小路 電一四六番 高橋

效能ある温泉 鐵冷温泉 旅館並に浴客席貸
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行北横手） 廣安喜次郎 電話一四一一番

試驗濟 消毒牛乳
牧場直轄 京龍牛乳販賣所 京城永樂町二丁目 電話一七一〇番 一九八八番

齒科治療 本町六丁目（俗そば横町） ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談 （電話一五八三）

日本音譜 朝鮮音譜 各種品揃
音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候
大聲發音器
日本蓄音器商會 朝鮮總代理店
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商 京城本町 辻屋 電話二四八番 振替口座八七番

齒科診療 齒科醫 栖崎東陽
京城南山町二丁目（天眞樓隣 寫眞館跡） 電話千三百六十番

野田醬油 野田町 茂木總本家 茂木七左衞門釀造 特約店
大日本麥酒株式會社
醬油 清酒 甘露醬油 酢
宇治銘茶 和洋罐詰 乾物荒物 薪炭 和洋酒類 穀物麵類 野菜果實
其他日用品一切

陸軍御用達 諸官衙
味噌醬油釀造元 諸漬物問屋
御贈答用進物品並に商品券調製仕候間御用命の程希上候
京城本町五丁目（電話二百五十一番） ㊅ 大上友太郎商店

たんをさりせきをしづめぜんそくを根治す 龍角散

氣候激變の爲め引風より、たんせきを起す人多し、輕症なりとて放任すれば肺炎、肋膜炎等に變症し終に重症となるものなれば輕易のうちに治療こそ肝要であります 龍角散は服用後、暫時にしてたんは能く切れ、せきは奇妙に止る、いき切は鎭まる其他數年困難したる慢性症も怠らず服用すれば氣分は何となく爽快となり病惱は日々に輕減し終に根治す此れ全く本劑が他藥に卓越する特色であります 龍角散が如斯く爽せき喘息に偉大なる効顯あるは偏に某醫官が多年刻苦御經驗の賜ものなればあの藥この藥と御迷なく一日も早く本劑を服用ありて其病苦を根治し給へ

登錄商標

主治効能
◎たんにて常にゴホンゴホンと惱むによろし
◎ぜんそくにてゼイゼイいき切するによろし
◎夜中せき頻に出でヲチヲチ眠り兼るによろし
◎流行感冒より起るたんせきによろし
◎肺病にて常に力なきせき出るによろし
◎たん臭氣を帶び時々血の交るによろし
◎小兒百日ぜき又はしかせきによろし
◎音聲のかれ咽喉の痛み總て呼吸器疾患のたんせきはいかなる惡性も一二週間續いて服用すれば其効力は速かに顯はる

一日分金十錢 郵送料二錢
四日半分金二十錢 二錢
一週間分金三十錢 二錢
二週間分金五十錢 二錢
一ケ月分金一圓 四錢
取次！全國各藥店にあり

本舖 藥劑師 藤井得三郎 東京市神田區豊島町 振替東京九一番
特約店 京城南大門通三丁目 新井藥房

英國セフヒールナ市シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處濟鮮地材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
京城本町五丁目 和洋金物商 釘本藤次郎本店 （電話四五番）電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

輕便手濡さず衛生的米洗器
最も德用便利なるテンピ
經濟的有利なる敷島竈
新式流行教育玩具類
智惠比べ秘密貯金箱
堅固美麗なる手提金庫
優美高尚なる傘臺
教育上心要なる礦石標本
仁川新町一丁目西北角 ㋡ 津田兄弟屋 電話七六二番 振替口座京城三八九番

M.C.C.
土耳古紙卷 エムシーシー
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤龜屋 釜山、木浦、群山高瀨支店

世界無比 淳良 清酒
○堺大塚の金露醸酒は今回改良に付て灘釀造酒のみを用ゆる事にせられたり
○大塚釀造場の金露酒は衛生に經濟に嗜好に京城に於ける一大良得品
○京城に於ける金露特約販賣店の元祖は佐藤牧商店なり
○大塚金露酒最近中味改良の結果賣捌高大多數を占めたるは佐藤牧商店なり
○地方御得意樣には中味改良の驗として大割引廉價を以て御注文に應じ可申候
特約大販賣 京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二九番 振替京城二九番

酒精アルコール 直輸入元
仁川花町一丁目（電話八五〇番）（電略ア）振替口座京城五八二 坂倉支店

陸軍指定旅館 鐵道院指定旅館 仁川水産組合指定旅館 第一各保險會社指定旅館
眺望の好き事 仁川港第一なり
弊館には夜警の設備有り 御客樣の安全此の上なし
仁川港 旭屋旅館

神經をしづめ腦病を全治す
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能くし、腦病中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す

腦病全治新藥 健腦丸 商標
記憶力惡き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
（定價）一日十錢 三日分廿錢 七日分四十錢 二週分八十五錢 五週分金二圓
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房
分店 大阪平野町 丹平商會分店
支店 東京日本橋 丹平商會支店
▲賣捌は全國有名藥店に取次す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 一〇六八 振替口座京城十六番

絃齋流割烹 す津祢 南山町二丁目 電話千五百二番

恩給 年金低利長期契約 時立替手數料一割
今般右營業開始仕候 大門外神戶屋ノ分全部繼承致迅速且懇切ニ取扱可申候
京城櫻井町八丁目 山口屋

磨擦白米 龍山精米所 京城元町 電話龍二一一

二月中 汽船出帆廣告
三省丸 舊島行 二月日前時
成章丸 海州行 二月日前時
天敎丸 屯串行 二月日前時
海利丸 海州行 二月五日前時
三省丸 大湖芝行 二月七日前時
荷客取扱所 合資會社秋田商會船舶部 仁川本町四丁目 電話七五〇番
秋田商會船舶部 仁川本町海岸通 電話一七三番
取扱所 仁川本町四丁目 本田回漕店 電話四一九番